

平成24年洞爺湖町教育委員会第1回定例会会議録

日 時	平成24年1月17日(火) 15:00より
場 所	役場第1委員会室
出席委員	委員長 蓮井 勇 委員長職務代理者 福島 浩二 委員 増山 和世 委員 岩原 義美 教育長 綱嶋 勉
欠席委員	無し
説明員	管理課長 遠藤 秀男 社会教育課長 天野 英樹 学校給食センター長 佐藤 正 社会教育課主幹 杉上 繁雄
会議録調整者	管理課学校教育グループ主査 尾崎 文郎
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	蓮井委員長 開会を宣言する。(15:00)
日程第2 【前回会議録の承認】	蓮井委員長 各教育委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	10/28 ななかまどの夕べ(洞爺湖文化センター) 10/29 洞爺湖町総合文化祭・展示部門(母と子の館) ~31 10/29・30 洞爺湖町総合文化祭・ステージ部門(あぶたふれ合いセンター) 10/31 子育てセミナー終了式(さわやか) 11/2 洞爺湖町民文化祭 展示(洞爺総合センター) ~4 11/3 洞爺湖町表彰式(町防災研修ホール) 11/5 とうや小学校学芸会 " 洞爺高校創立60周年記念講演会(洞爺総合センター) 11/7 教育委員会第4回臨時会(役場)

- 11 / 8 定例校長会議（役場）
- 11 / 11 子ども芸術文化フェスティバル（洞爺湖文化センター）
- 11 / 12 教育長杯小学生バレーボール大会（あぶた体育館 外）
- ” 町PTA連合会研究大会（洞爺湖文化センター）
- 11 / 13 あぶた読書の家リニューアルオープン式
- 11 / 14 教育講演会（虻中）
- 11 / 15 山口県和木町議会議員視察来庁（役場）
- ” 定例教頭会議（役場）
- 11 / 16 教育委員会第5回臨時会（役場）
- 11 / 18 フレンドリーツアー友好都市三豊市訪問
- ~ 21
- 11 / 21 教育局指導監学校経営訪問（温小）
- 11 / 22 教職員平成24年度当初人事の教育局長面接（役場）
- 11 / 23 洞爺湖町民文化祭 芸能部門（洞爺総合センター）
- 11 / 25 特別支援教育連携協議会（役場）
- 11 / 28 町議会第3回臨時会（議場）
- 11 / 29 芸術館友の会懇談会（洞爺総合センター）
- 12 / 6 町政懇談会（総合センター・とれた・成香愛郷の家・とうや湖
- ~ 9 コミセン）
- 12 / 12 町政懇談会（あぶたコミセン）
- 12 / 13 定例教頭会議（役場）
- 12 / 14 町議会第4回定例会（議場）
- ~ 16
- 12 / 20 町政懇談会（入江集会所・役場・あぶたふれ合いセンター）
- ~ 22
- 12 / 22 就学指導委員会（役場）
- 12 / 26 さくら保育所閉所式
- 1 / 8 成人式、成人のつどい（役場）
- 1 / 10 管内教育長会議（むろらん広域センタービル）

蓮井委員長

10月28日から本日までの諸般の報告でございました。質問等がございましたらお願いします。

当町と豊浦町だけが、学校の機械警備をしていないということですが、した方が良いのかどうかいかがですか。

綱嶋教育長

たまたまこういった時に明確になるかどうかという話だけなのですが、本来は安全管理を考えると、機械でなくてもガードマンでも巡回するとか、必要な部分、例えば職員室周辺を機械警備するとか、今の時代を考えるとそういった必要性もあると思われまます。以前、虻田中学校で巡回警備を実

施したことがあります。かなり前に機械警備を導入したことがありますが、先生方の出入りが大変なのと、建物の機密性の問題もあると思いますが、カーテンが揺れる度に警報が作動し、管理職へ通報されるという誤作動が度々起きた為、止めたという経緯がありました。

蓮井委員長

何か有事に際には、きちっと説明できるというような利便性はあるのですが、自分経験上、機械警備があると落ち着いて仕事が出来ないような感じがして疑問に思うところあります。

綱嶋教育長

全てを機械警備しているかどうかはわかりません。全てとなれば相当の経費が掛かると思われます。白老町で理科薬品の盗難事件がありましたが、現在当町では、朝、先生が出勤するまで発見できない状況です。機械警備では、異常があれば、警備員が来て対応することは出来ないかもしれませんが、異常事態が起きたという状況を把握することができます。

蓮井委員長

国歌斉唱に係る歌詞カードの配布というのは。

綱嶋教育長

豊浦町で、卒業式のしおりの中に国歌の歌詞が入っており、その他の市町は国歌の歌詞が載っておらず、学校で準備できないのであれば、教育局で準備するという、決定事項ではありませんが、そういう考え方で進めている状況です。

蓮井委員長

洞爺湖町内も随分改善されておりますので、推移を見ながら各学校で取り組んでもらえればありがたいと思います。

他、質問ございませんでしょうか。

特になければ、次に進みます。

日程第4

【報告事項】

・報告第1号

日程第4号、報告事項、報告第1号平成24年洞爺湖町成人式についてお願いします。

天野社会課長

報告第1号、平成24年洞爺湖町成人式について、次のとおり報告いたします。

《議案読み上げにより説明》

以上です。

蓮井委員長

成人式について、感想等ございませんでしょうか。

福島委員長職務代理者

前年に要望していた、花や君が代について改善されておりまして、良かったのかなと思いました。特に君が代については歌詞の入ったのが良かったの

で、各学校にも配って、卒業式等で使用してもらいたいと思います。

課長さんをはじめ、社会教育の皆さんご苦労様でした。

蓮井委員長

人数の問題や経費も問題もありますが、式の後の懇親会では駄菓子と飲物でだったのですが、例えばケーキとコーヒーで静かに語り合う時間を作るといような工夫はできないのかなと思いますが、今のようににぎやかに行うのも良いのかなとも思いますがどうなんでしょう。

福島委員長職務代理者

後半、帰っている人もおりましたので、今の時間が限度なのかなと思います。以前、オードブルを出したこともありましたが、余ってしまいましたし、成人式らしいということについて、どう持っていけば良いか難しいところです。

綱嶋教育長

実行委員会で、先輩やこれから成人を迎える人を含めて祝ってあげるといのが本来の姿かなと思います。

行政だけでは、若い人の考え方を全て取り入れるということは難しいですし、以前は実行委員会形式で実施しておりましたが、声を掛けても動きが悪く、現在のような形になっております。

式は良いのですが、懇談会は当事者や先輩後輩を含めて、内容を検討してもらうのが一番だと思います。

岩原委員

夕張が破綻した時に、成人者が企画して実行したということで報道されており、心に残る内容で、ああいったものいいなと感じました。

福島委員長職務代理者

実行委員会形式にするとしても、その年代の青年は地元にあまりいないので、内容を協議することが難しい現実があります。

ほとんどがが洞爺湖町と同じ日に式典を実施しているのでしょうか。

綱嶋教育長

8割から9割は土曜日か日曜日で、まれに正月に実施しているところもあります。大学生ではすぐに学校が始まってしまいますので。

岩原委員

洞爺地区では保護者が式典会場に入れない風潮がずっと続いていて、今年もそうだったのですが、そういう案内になっているのですか。

天野社会教育課長

現場では、どうぞ会場に入ってくださいとお話ししております。ただ、今回遠慮されて帰る方、控え室にいる方が多かったようです。

蓮井委員長

いくつかの改善についての意見や、保護者への周知について充分ではなかったということがあるかと思われませんが、新成人の方々が喜んで参加できる方法毎年工夫し考えてあげたいものだと思います。なんにしても、今年は新

・報告第2号

成人の参加者数が多かったということが喜ばしいことだと思っております。こういった成人式が実施できればよろしいのかなと思っております。

福島委員長職務代理者

自治会長さん等は、30分程度の式しか出席せずに、せっかくきて頂いたのに申し訳ないような気がします。後の懇親会にも残ってもらってもいいと思います。経費もそれほど増えないと思いますが。

蓮井委員長

色々と考え方が出ましたけれど、今後検討して、より良い成人式をお願いしたいと思っています。

よろしいでしょうか。

《特になし》

それでは、報告第2号、平成23年度発掘調査についてお願いします。

天野社会教育課長 報告第2号、平成23年度発掘調査について報告いたします。

《議案読み上げにより報告》

次に別紙資料により説明いたします。

「詳細分布調査に伴う栄遺跡発掘調査について」ですが、これにつきましては、発見された遺構ということで、(1)溝状遺構ですが、形態的な特徴から「チャシ」に伴う「壕」である可能性が高いと考えられます。「チャシ」については3ページ目に記載されております。洞爺湖町では初めて発見されました。なお、この場所については、健康福祉センターの伊達側の辺りになります。

2つ目として、火山弾跡ということで、このチャシの近くに大きな窪みが発見されております。調査の結果としまして、入江・高砂貝塚で発見された「衝突孔」(インパクトクレーター)と同様のものと考えられます。1663年の有珠山噴火によって噴石が飛んできてできたものではないかと想定されております。今後、専門の先生に確認してもう予定でありますが、先ず間違いなさであろうという状況です。場所については、次のページの図面の高砂貝塚の左側になります。その他、写真・位置図を載せておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

それから、インター通改築工事に伴う栄2遺跡発掘調査でございます。これにつきましては、ホッケマ式ということで、小樽市塩谷のホッケマということから初めて発見されたものなので、ホッケマ式と名前がついているもので、同じような竪穴式住居や土器が発見されました。資料に発掘場所が記載されております。また、新聞に載りましたので、その記事も付けております。現在は発掘が終了しまして、整理作業中ということでございます。

以上でございます。

蓮井委員長

小・中学生や高校生の参加があったということですが、土日で希望者が来て参加したものです。

<p>・報告第3号</p>	<p>天野社会教育課長 平日です。虻高は3名×5日、虻中は5名が2日、虻小は4年生から6年生が学年ごとに参加しました。</p> <p>福島委員長職務代理者 直接文化財には関係ありませんが、駒ヶ岳の火山灰も発見されているということなので、有珠山だけでなく駒ヶ岳も含めて防災活動に活かしてもらいたいと思います。</p> <p>天野社会教育課長 調査結果については、防災担当にも伝えたいと思います。</p> <p>それから、9月に議員さんから東北大震災に係り、津波に関する過去の文献等がないか質問がありました。地層で解かりますが、津波があった場合は海砂が層になるということで、今まで出たことがないので大きな津波はなかったのではないかと考えられております。</p> <p>福島委員長職務代理者 文化的な面だけでなく、防災的な面からの資料を残すべきだと思います。</p> <p>蓮井委員長 文化遺産としての価値だけでなく、例えばハザードマップの見直し時の資料とするなど、町民の安全確保のために活用されれば、また別の価値があるのかなと思います。息の永い取組みなるとは思いますが、子供たちも参加したということで、学校でも学習に活用して欲しいと思います。</p> <p>これに関してよろしいでしょうか 《特に無し》</p> <p>では、次に報告第3号、臨時代理の報告についてお願いします。</p> <p>遠藤管理課長 報告第3号、臨時代理の報告について、洞爺湖町議会第4回定例会提出補正予算について、洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2号の規定により、これを報告するものでございます。</p> <p>教育長からの意見通知書と町長からの意見聴取書の写しを付けております。</p> <p>内容につきましては、別紙の平成23年度歳入歳出補正予算事項別明細書(第4号)で説明させていただきます。</p> <p>1ページの歳入です。寄附金8万円でその内7万円が教育関係で、5万円が洞爺温泉病院から頂きました、とうや小学校の図書購入費ということで毎年頂いているものです。もう1点、ななかまどの会から2万円、ななかまど文庫のためにと頂いております。</p> <p>2ページは歳出でございます。</p> <p>3款民生費、常設保育所費で、他町の保育所に当町の3歳児の子と1歳児の子2名が、10月から12月まで広域で入所しております、その委託料18万9千円でございます。この子につきましては、元々他町におられた子</p>
---------------	--

でございます、3歳児の子は障害を持っておりまして、当町で1人(保育士を)付けなければならなくて、体制が整わないということで、他町もこの子のために1人嘱託職員を雇って、23年度実施して来た経緯があったものですから、それであれば、当町の方で体制が整うまでみて頂きたいということで、10月~12月までの3ヶ月間他町に委託しております。1月から体制が整いましたので、現在は本町保育所の障害児枠で保育を進めております。弟がおりますが一緒に保育をしております。

10款教育費の教育総務費で、62万円補正させて頂いております。需用費の印刷製本費で20万円ですが、学びのサポート推進会議での学習の手引き等のパンフレットの印刷経費でございます、今後の読書の手引きを含めての20万円の補正させて頂いております。その下の修繕料、42万円ございますけれど、洞爺地区のスクールバスの修繕でございます、電子制御部分が壊れまして、50万円ほど修理費がかかりますので補正させて頂きました。それから、2項小学校費の5万円ですが、これは備品の図書購入費で、先ほどの寄附を頂きました部分の5万円を、図書購入費として計上したものでございます。4項の高等学校費でございますが、高校管理費で65万円で、内15万円が旅費でございます、赴任旅費です。23年度当初で赴任された方、毎年当初予算で3名ほどみてたのですが、実際には加配・産休代替も含めて6名の方の赴任がありましたので、若干不足したものでございます。それから備品購入費ですが、50万円ございますけれど、これにつきましては、洞爺高校の職員室のFFストーブが壊れたということ、情報処理室というところがありますが、ここには2つ暖房機がありますのがその内の1つが壊れたということで、新たに2台のストーブを更新させて頂いたものでございます。それから5項社会教育費、図書館費の図書購入費ですが、先ほどのななかまど文庫の購入費2万円を計上したものでございます。

以上でございます。

蓮井委員長

質問、ご意見等を頂きたいと思えます。

障害のある子を他町にみてもらうということですが、3ヶ月間ということですけど。

遠藤管理課長

9月まで、このご家族は他町に住んでおりました。10月に当町に住宅を求めて引越しをしました。事前から相談があり、障害があるということで、嘱託職員の募集を掛けたのですが、応募が無いということで体制が整わず、少し待って下さいとお話ししました。その間どうするかということになりましたが、他町との協議で体制が整うまでうちの町でみましょうとなりました。広域入所の協定というものがあるのですが、その中には障害児というのが入っておりませんでした。それで、伊達市・豊浦町・壮瞥町と当町で新たに結んでおります。

<p>・報告第4号</p>	<p>蓮井委員長 通所に係る交通費のような費用はどうなります。</p> <p>遠藤管理課長 それはご自身でとなります。</p> <p>蓮井委員長 広域でそういう協定を結んだということは、今後そういう事案が発生した時にはその協定に従って、実施するということですね。</p> <p>遠藤管理課長 はい。それは例えばお互いに障害児保育を実施していなければなりませんので、その辺が難しいところです。</p> <p>蓮井委員長 1月から本町保育所へということで、保育士を採用できたのですね。</p> <p>遠藤管理課長 1名丁度応募がありまして、それと合わせてさくら保育所が12月で休所になり、保育士さんが1名余りますので、その辺をやりくりしました。</p> <p>蓮井委員長 障害の程度は重いのですか。</p> <p>遠藤管理課長 直接は見ておりませんが、保護者との話し合いの中では、1人保育士が付かなければならないということです。</p> <p>蓮井委員長 そういった子が1人でも救われるということであれば、喜ばしいところでもありますし、そういう協定が結ばれたということは、そういう活用をしなければならぬ人が増えなければいいと思いつつも、しかしそういう協定を活かしていく方向はありがたいなと思っております。</p> <p>この件についてよろしいでしょうか。</p> <p>《特に無し》</p> <p>それでは次に進みたいと思います。</p> <p>報告第4号に移ります。</p> <p>遠藤管理課長 報告第4号、平成24年度当初予算要望概要について。平成24年度当初予算要望概要について、別紙のとおり報告するものです。</p> <p>お手元に別紙の平成24年度予算要望概要資料があると思います。</p> <p>現在は要望段階ですけれど、その内の主なものを説明させていただきます。</p> <p>先ず、保育所の関係でございますけれど、保育所管理で保育内容等検討委員会を設置したいと思っております。平成21年度に保育料等の検討委員会を設置しまして、保育料の見直しと保育所の統合について検討して頂きました。それから4年目になりますので、今回また保育料の適正化、それから施設の統廃合等の検討して頂きたいと考えております。常設保育所備品ですが、事務用パソコン各保育所1台増となっております。今、各保育所に1台の事</p>
---------------	--

務用パソコンがございまして、これは予算や決裁用に使っておりまして、最近各保育士さんも事務報告等色々な部分が出てきます。それは各保育所対応ですが、やはりパソコンがないとなかなかできないということで、何とか1台欲しいということで要望させていただいております。それから、額は書いておりませんが、平成24年度で新しい保育士を3名採用する予定となっております。退職は今年度末で2人予定でございます。現在正職員は17名ということでございますので、正職員が18名体制になると考えてございます。

それから、学校教育でございます。特別支援教育支援員ということで、現在5名の支援員で虻小2・温小2・虻中1となっておりますが、それを1名増というかたちで要望させていただいております。これにつきまして、どうかたちになるか分かりませんが、とうや小学校の特別支援学級がかなり学年の幅が広い学級になりそうですから、1人の先生では非常に厳しいかなと思いますので、そこにある程度の支援ができればという要望でございます。それから、特別支援学級介護員でございますが、今年度と同じかたちで要望させて頂いております。それから、名称は決まっておりませんが、学力向上のための教科支援員の配置を考えたいと思います。委員長がおっしゃってありました、虻小で35人学級に入らない部分がございますので、この辺に支援ができるかどうか、また、学力向上に向けて、例えば学科講師というようなかたちも取れるのかなと考えてございますが、もう少し町と詰めさせて頂きたいなと思っております。それから、学校施設整備検討委員会というのがございます。これも来年度新たに立ち上げたいなと思っておりますが、学校施設整備の効率的な整備実施の為の検討委員会の設置ということで、具体的には小中学校の配置計画というのでしょうか、統廃合を含めた部分を民間の方にも入って頂いて検討を進めたいと思っております。それから、フッ化物洗口事業でございますが、小学校3校での実施のための消耗品等の経費を計上しているものでございます。教育用パソコンの整備でございますけれど、各学校でリース契約を進めておりますが、今年度につきましては、洞爺の小中と洞爺高校が本来の更新時期でしたが、1年延ばしましたので、来年度更新したいと考えております。次に教科書改訂ですが、中学校が24年度から新学習指導要領に移行します。その関係で教師用の指導書の費用を計上させて頂いております。箱根の中学生との親善交流につきましては、例年通り実施したいと考えております。それから、学校施設耐震化事業でございますけれど、今年度の補正で温泉中学校体育館の耐震化工事の実施設計の費用をみていただきましたので、それに基づきまして、24年度工事を実施したいと考えてございます。それから、とうや小学校の校舎と体育館の耐震化工事の実施設計の費用を計上させて頂いております。学校施設修繕事業でございます。各学校で多くの修繕要望を出して頂いておりますが、その内各学校1・2点をピックアップさせて頂きまして、540万円ほど要望をさせて頂いております。虻田高校の支援につきましては、例年どおり515万円の要望

をさせて頂いております。教員住宅の整備ですけれど、老朽化している教員住宅3棟の解体となっております。これは、虻田中学校の横に古い建物が3戸あります。これは昭和50年に建築したものでございまして、3戸の内1戸はまだ入っている状況ではございますが、これを取壊していきたいと思っております。洞爺高校の教材で、教育用パソコンの更新とありますが、これは先ほどご説明したとおりでございます。柔道用の畳の更新ということで、今ある畳は様々なところから貰った畳ということで、非常に古い物で、更新をさせて頂きたいという要望でございます。

この後は社会教育課からお願いします。

天野社会教育課長

ふるさと・ふれあいフレンドリーツアーということで、例年どおり三豊市の小学生と交流事業を継続するものでございます。なお、予算が倍ほどになってございますが、これは、従前は参加費4万2千円ほど貰っており、会計に入れないで経費を支払いしておりましたが、次年度は会計に全て入れて会計から払うということで、約47万円ほど増えましたが、内容的には変わっておりません。社会体験ですが、とうや子ども社会体験ということで2泊3日で夏休み中に、小学校4年生以上6年生までと、中学生がリーダーとして付いて行って、色々な体験というもので、これにつきましても継続ということです。これも参加費7千円ほど頂いておりますが、会計に入れないで処理しておりましたが、会計に入れて処理するというので、約28万円ほどございますが、町の負担は変わっておりません。それから社会教育施設維持補修等となっておりますが、大きなものを要望してございます。母と子の館体育館バスケットコートライン引きとありますが、これにつきましては、ルール改訂によりゴール下のラインが変わりますので、これを要望しております。洞爺総合センターのホールワックス塗布ということで、相当汚れておりますので、清掃しワックス掛けをしたいと思っております。それから、ふれ合いセンター備品ということで、去年の文化祭のステージ部門等で、放送設備等に不具合があり、だましまし使っておりましたが、かなり状態が悪いので、更新の要望とガス釜等の調理器具の更新を要望しております。それが81万7千円でございます。それから、高砂貝塚保存整備事業ということで、発掘調査事業として、昭和59年の入江保育所建設時の調査と昭和41・42年に札幌医科大学で調査して頂いたものがあるのですが、それがきちんと調査書にまとめられていなかったということで、国と協議しまして、来年度の補助事業として整理しても良いとということで内諾を頂いておりますので、新規として実施するのでございます。文化財保存整備ということで、これにつきましては、白井柳治郎を紐解く会ということで、白井柳治郎日記をきれいに訳して頂いておりますが、それらがほとんど解読できたということで、それらをしっかりと残すということで、年賦については300冊、それから日記については、大正から昭和まで、昭和41年に亡くなってありますが、それまでの物は相当な量になりますので、本誌につきましては9分冊を

20セットということで、合計で152万円を新規で要望してございます。なおこれにつきましては、北海道アイヌ文化振興機構というのがございますが、そこに補助金の要望をこれから出すということで、健康福祉課が所管となりますので、そこを通じて今お願いをしている最中でございます。体育施設維持補修ということで、あぶた体育館バスケットコートライン補修ということで、先ほどと同じルールの改訂に伴うものと、あちこち痛んでおりますので、プールそれから学校プールワイヤーシート補修等の修繕したいということで要望しているところでございます。

社会教育は以上でございます。

佐藤給食センター所長

続きまして、給食センター分です。給食施設備品ということで、洞爺の給食センターですが、食管を入れる保温コンテナは今まで発泡スチロール製でしたが硬質ウレタン製に変える費用の要望でございます。虻田給食センターですが、球根皮剥機が劣化した為の更新費用でございます。それから、維持管理補修分ですが、洞爺給食センターのスチームコンベクションにスチーム状の物が溜まるということで、5年に1回は除去する必要がありますのでその要望でございます。虻田給食センターですが、蒸気回転釜ウオーム受修繕ということで、かなり劣化しておりますので、これを取り替えたいというものです。それから、食器洗浄器のスケール除去ということで、これも蒸気が出る管にスケールが付着しますのでその洗浄する要望でございます。給食費口座振替手数料ということで、現在、洞爺給食センター分と虻田小学校分は口座振替を実施しておりますが、それ以外の小中学校分は集金袋で子供が学校に納入している状況ですので、来年度から口座振替に切り替えたいということで、1件当たり30円手数料が掛かる部分での要望でございます。

以上でございます。

蓮井委員長

平成24年度の予算要望でございます。

質問等がございましたら、お出し頂きたいと思います。

洞爺高校の状況ですが、調理室のガスが使用中に止まるとか、水漏れの音がするなどの不具合や、雨漏りがするなどの状況があると聞きましたが、それらの修繕について、この予算要望に盛り込まなくて対応できるものなのかどうか検討しなければならないと思いますがいかがでしょうか。

遠藤管理課長

まず、ガスですがこれは設定の問題でして、通常2時間ずっと使うと止まってしまう。たまたまその事を学校が知らなかったということでしたが、ガス業者がその設定を解除し、今は問題なく使用できるようになっております。もし、異常があった時はメーターと連動しているので、自動的に止まります。それから漏水の音がするというのですが、水落しの部分でそこが老朽化しており、水を出した時に音がして、水を止めた時には問題ないということで、多分、水落しの異常だろうと思われるので、今、水道課に見て頂いて

修理が必要なものは修理したいと考えております。それから、雨漏りなのですが、昨年、屋根のペンキを塗りました。その雨漏りは屋根からではなくて煙突の隙間のところから入ってきているということで、どのように修理するか、今、建築の方と協議しております。それから天井が下がってきているということですが、その辺につきましては今どの位と掴めませんので、当初予算ではなく、どうしても必要となれば補正予算で対応したいと考えております。

蓮井委員長

教員住宅の取壊しについて3棟計上されておりますが、この3棟だけでなく、洞爺地区や温泉地区にも使っていない住宅はありますか。

遠藤管理課長

温泉地区は無いのですが、洞爺地区では1棟2戸の住宅2棟。内1棟は煙突が壊れて板を貼っている状態で、ここも取り壊したいと思っております。それと、高校の第2寮も取壊しをしたいと考えておりますが、全部一度になると相当な額になりますので、要望としては年次的に進めていきたいということで、とりあえず1年目としては、入江地区の老朽化している住宅3戸を取り壊しをしたいと要望しているところです。

蓮井委員長

洞爺高校の校長住宅はどうなっていますか。

遠藤管理課長

今、業者に見てもらっております。

蓮井委員長

とうや小学校の窓枠改修をしておりますが、今年度で終わりですか。

遠藤管理課長

当該工事は臨時交付金を使って、100パーセント国の費用で平成22年度の補正予算を繰越して23年度に実施しました。予算的には2300万円ほどです。1階正面の窓枠は全部、2階の正面は図書室以外全部実施しました。今のところ窓枠に関しては一旦ここで終わらして、耐震化を検討しておりますので、こちらの方を先ず優先していきたいと考えております。

蓮井委員長

虹中で理科室や理科準備室の改修等について要望等は上がっておりませんか。

遠藤管理課長

理科室等での要望は上がっておりません。

蓮井委員長

昨年の学校訪問した際、理科室等の状況を見ましたらあまり良い学習環境ではなかったという印象だったものですから。

遠藤管理課長

理科準備室はかなり乱雑だったので、それについてはしっかり整理することと、薬品の管理について、薬品庫がなかったので、旧大原小学校に残って

おりましたので、それを使用して管理をして下さいということで、今進めております。

蓮井委員長

先ほど、学校の適正配置に触れるような説明がありました。

遠藤管理課長

適正配置という言葉がどうかということもありますが、やはり、虻田中学校の老朽化、温泉中学校の生徒減、洞爺湖温泉小学校もそうなのですけれど、洞爺地区に関しては小学校の児童数が急に落ちているという状況でありませんので、中学校もそういう考えでいくと、中学校はある程度このままでいけるのかなと思うのですが、温泉地区と虻田地区は考えていかななくてはならないだろうと。ここに先ほどの耐震化の部分が重なってきますので、これとリンクしたかたちで検討していかざるを得ないだろうと思います。単純に虻田地区の学校施設の改修・耐震化だけ実施してよろしいのかということまで協議を実施して頂ければというイメージは持っております。

蓮井委員長

少子化傾向が進んでおりますので、適正配置というのは当然検討しなければならぬ課題になりますが、これは当町だけではなく多くの市町村が将来的な展望として考えなければならぬことではありますが、今の状況を十分に考慮しなければならぬだろうと思います。

それから、学力向上のための教科支援員の配置とありますが、T T方式で活用するのか、(学力テストに)理科が加わることを含めて、国語等の中心教科での活用なのか、どの様に考えておりますか。

遠藤管理課長

例えばT Tで教員1名を町で採用するとなると、非常に色々なハードルがあるのかなと思います。道職員を町職員で雇用するとなると、条例改正が必要となってきます。そうするとなかなか難しいですし、そういう先生を本当に確保できるのかということも1つの問題かなと思います。そういうふうに考えていくと、例えば教科ごとに講師的なかたちで退職教員を呼ぶというような活用をしていけば、最初の段階としてはスムーズなのかなというイメージを持っています。私どもとしては虻小・虻中かなと思っておりますが、最終的にこうやりたいというかたちが詰まっておらず、学校と協議を進めているところです。

蓮井委員長

常勤でないけれど、非常勤の指導主事ということでもないのですね。

遠藤管理課長

指導主事とは考えておりません。

綱嶋教育長

今、喫緊の課題は、全道平均を下回る小・中学校だと思います。4年5年結果を見ても微増はしていますけれど、結果は出ていない。学校現場に刺激を与える為にも、前から委員長がおっしゃっているように、町独自の少人数

学級編制も考えて、校長先生と具体的に、今、お金がないながら結果を出す方法としてどう対応したら良いか協議をしました。期限付きの教員を町単独で雇用して、少人数学級で対応したとしても、学校現場として1年でまた先生が変わると、保護者に対しても責任ある説明ができない。長期を考えると退職した先生を雇う。しかし、小学校低学年を考えると体力のあり現実的ではないと。伊達市で今、時間講師で主要科目を、市内（市内居住している退職教員）で対応しているそうです。嘱託職員の特別支援教育支援員と同じような考え方が可能だとすれば、全ての教科にTTなり副担任によるかたちではなく、主要教科を支援する方法で進めたい。ただ、先生を確保できるかどうかは不確定です。

福島委員長職務代理者

学校訪問等で先生方の話を聞いていると甘えがあるように思えます。

地域の懇談会で、ボランティアの塾を開いている方に、現役の先生が、どういう気持ちで教育していますかと質問しておりました。これには違和感を感じました。

先ほど教育長が言っておりましたように、やはり全道平均を下回る小学校をしっかりとすることが大事だと思いますし、先生の姿勢も変えていく必要があると思います。

蓮井委員長

先ほど教育長さんがおっしゃったように、内容については十分に検討しなければならないと思います。私ども考えなければなりません、予算化されればありがたいと考えます。

それからもう一つ、教材に関わることですが、電子黒板が各学校に入りましたが、それを活用するソフトは、配分予算で購入するのですか。それとも要望を受けてこちらで購入するのですか。

遠藤管理課長

教材について、各学校の配分予算で購入することで考えております。

蓮井委員長

電子黒板用のソフトを購入しておらず、活用しようとする姿勢が見られないようです。今年度の学校訪問時に、電子黒板の活用についてをテーマにしましたが、来年度も同様にテーマにしようと思っております。その辺については、配分予算の中で各学校購入してもらうように、校長会等で教育長さんから指導頂ければありがたいと思っております。

随分と色々なところを配慮頂いた要望概算となっておりますが、他に質問等ございますか。

《特に無し》

それでは、報告第4号についてはこれで終わりたいと思います。

次に報告第5号について、お願いします。

遠藤管理課長

報告第5号、平成23年度全国学力・学習状況調査の結果概要について。

・報告第5号

平成23年度全国学力・学習状況調査の結果概要を、次のとおり報告いたします。

平成23年度はご存知のとおり東日本大震災のため、全国統一の実施は見送られ、希望利用ということで、各都道府県の希望を取って行われたものでございます。全国集計が行われないことから、北海道教育委員会が独自に集計・分析する形で、札幌市は政令指定都市で別なものですから、札幌市を除く道内公立小中学校全校が参加して行われました。

調査期日が9月27日から29日となっておりますが、27日が基準日で、28日・29日は予備日ということで、27日に小学校3校、28日に温中、29日虻中と洞中が実施しております。これは学校祭が丁度ぶつかってまして、その関係で少しずれたとでございます。対象学年は小学校6年生と中学校3年生です。児童生徒数は小学校で70名、中学校で71名で合計で141名となっております。調査の内容ですが、教科につきましては例年どおり主として知識に関する問題（国語A、算数・数学A）と、主として活用に関する問題（国語B、算数・数学B）、生活習慣や学習習慣に関する調査で、児童生徒に対する調査と学校に対する調査が行われてございます。

結果の概要でございますが、教科につきましては、北海道平均を上回った学校もありましたが、平均では小・中学校ともほとんどの問題で北海道平均を下回ってございます。しかし、その差は小学校国語A以外の科目は前回よりも小さくなり、中学校数学Bでは僅かながら北海道平均を上回ってございます。北海道平均を1つでも上回ったのは、初めてのことでございます。各学校の熱心な取り組みと児童生徒の努力の成果が出てきているものと考えております。

質問紙調査では、北海道の集計に比べ、生活習慣等で大きな差がいくつか見られ「家庭学習の時間が少ない」「読書の時間が少ない」などで、前回同様の傾向となっております。

別冊で、平成23年度全国学力・学習状況調査結果状況というのを見て頂きたいと思います。1から5までは先ほどご説明したとおりですが、児童生徒数は9月末で小学校は72名ですが、2名病気等で調査を欠席しております。中学校は在籍数は80名で9名が参加しておりません。

1ページは平均正答率を表しております。洞爺湖町平均正答率につきましては、どうかたちで公表していくかまだ決まっておりませんので、洞爺湖町の部分については数字は説明いたしませんので、見ていただければと思います。北海道の数字が出ておりますが、北海道でいきますと平成23年度小学校国語Aが73.1、国語Bが36.2、算数Aが78.0、算数Bが42.2。中学校が国語Aが78.0、国語Bが62.4、数学Aが54.7、数学Bが47.4というような状況でございます。その下の全国は統一したかたちで行っておりませんので、集計等は行ってございません。その下に北海道との差というのがございます。これは洞爺湖町と北海道との差でございますが、その平成22年度との数字を見て頂けるとわかるかなと思うので

すが、平成23年度につきましては、全て大体5パーセント以内に納まっております。22年度と比べると、大体が小さくなっているというの是一目瞭然かなと、国語Aで若干差が出たのですが、他につきましては差が小さくなっているというのがご覧になれるかと思っております。1番下に丸で表しておりますけれど、が北海道との差が縮まったものということで、小学校国語A以外は全て差が縮まったものをご理解頂けるかなと。それから は残念ながら差が広がったものですが、大体3パーセント範囲内というところです。その下の ですが、中学校の数学Bにつきましては、少しですが北海道平均を上回っております。

それから2ページから9ページまでグラフになっております。2ページを見て頂きたいのですが、小学校の国語Aの問題ですけれど、平均正答数と平均正答率を表したものでございまして、16問ありましてその内16問正答したのは1番右の表がございまして7人の子が正答しております。左に行くに従ってだんだん正答数が少なくなっているかたちでございまして。これの見方としましては三角で点線を結んでいるのですけれど、これが北海道の平均でございまして。これより、やはり5問7問8問とかこの辺の数字が洞爺湖町の場合上がっていると。これはやはり先ほども話しましたが、平均より下が若干層が厚いというか、そういう状況が見てとれるかなと思っております。その下国語Bからずっといくのですが、中学校も同じような傾向が続いておりますので、説明は省略させていただきます。

10ページですが、質問紙調査でございまして。先ず小学生ですけれど、昨年度同様に主なものを載せております。基本的な生活習慣で朝食を毎日食べているかですが、今年度は84.3パーセントの子が食べているということで、全道とそんなに大きな差はなく、22年度の80.7パーセントから見ると若干伸びているかなと見ております。それから、11ページですが、12の普段(月から金)のテレビやビデオ・DVDを見聞きする時間というのがございまして。下の方に23年度の欄がございまして、洞爺湖町の場合ですと、2時間から3時間テレビやビデオを見ますよというのが31.4、1時間から2時間というのが11.4ということで、北海道がその下にあるのですが、2時間から3時間は24.2、1時間から2時間が19.3ということで、若干北海道比べるとテレビを見る時間が多いというふうに見られるのかなと思っております。それから1番下の方の8で、将来の夢や目標を持っているかという部分ですが、これが洞爺湖町の23年度で見ますと58.6で前年度と比べると10パーセント近く落ちております。ただ、全道と比べても同じようなかたちでかなり落ちているので、この辺が心配なところです。続きまして12ページでございまして。色々ありますが、家庭生活の25の家で自分で計画をたてて勉強しているかということですが、しているのは23年度で22.9パーセントで全道と似たような数字になっているのですが、その下のどちらかといえばしているは若干低いなということで、合計して42.9パーセントなのですが、道に比べたら道が50.3パーセントで

すので若干低いなということで、やはり自分で進んで勉強していないところが、力が出ない原因の1つにも考えられるかなというふうに思っております。それから13ページの16の学校の授業以外に普段（月から金）、1日の学習時間はどの位ですかという部分でございます。平成23年度のところを見て頂きますと、一番多いのが30分から1時間の45.7パーセントです。北海道はここは32.2で、1時間から2時間というのが1番多くて27.8で、洞爺湖町は約半分位の14.3です。30分から1時間、30分以内の方にシフトしているのかなということ、全体の家庭での学習時間は少ないのかなという状況が見えると思います。それから14ページの実際の教科の方で、国語科がございしますが、国語の勉強は好きですかという質問です。23年度18.6ということで、22年度は31.3ですから今年の6年生については、かなり国語は苦手なのかなと取れるかなと思います。ただ、全道的な数字と比較するとそんなに大きな開きはないと思っております。55の読書は好きですかという質問がありますが、ここも少し低くなっておりまして、23年度31.4で北海道は44.7ですのでかなり低いですし、22年度39.8から見ても下がっておりますので、残念な数字だと思っております。算数の方ですが、その下になりますけれど、算数の勉強は好きですかという質問には、今年度34.3で全道の33.3とほぼ変わらず、少し落ちていますが、昨年度ともそんなに大きく変わっていないところです。ただ、65の算数の授業の内容はよく分かるという質問ですが、23年度は30.0で北海道が36.6ですので、6.6パーセント落ちてると、どちらかといえば分かるというのを合わせましても64.3と73.5ですので、ちょっとこの辺授業の内容等がまだ理解出来ていない部分が見え隠れしているのかなというふうに感じております。15ページから中学校に方になりますけれど、この中で気になるのが、1番最初です。小学校ではそうでもなかったのですが、1番上の朝食を毎日食べているかという部分です。平成23年度67.6パーセントです。去年は71.1パーセントで、全道は79.7パーセントです。全道に比べると12パーセントくらい落ちている状況で、調べてみましたら、町内の大きな学校のところが非常に低くなっている状況が分かりました。少し飛びますが、16ページです。12の普段テレビやビデオを見る時間ということで、これも23年度は多い時間の方にシフトして見えていると思います。それも4時間以上が28.2と高い数値を示しているところでございます。それから下の方の自己肯定感ということで、失敗を恐れないで挑戦していますかというところですが、23年度は7.0ということで、北海道と比べましても半分以下ということで、非常に低くなっている状況でございます。それから8番目の将来の夢や目標を持っていますかという部分ですが、これにつきましては若干落ちていますが、北海道とそんなに大きく差はないのかなと思っております。17ページの家学習ですが小学校と同じ25で、自分で計画をたてて勉強していますかという部分では、23年度は非常に低くて10パーセントを切ってしまう

って9.9になっております。中学校に入ってからなかなか自主的に勉強していない実態が見えるかなと思います。26の家で学校の宿題をしているかという部分でも、31.0パーセントで去年50パーセントに比べて非常に低くなっております。それから19ページでございます。国語科の52、国語の勉強は好きですかという質問ですが、12.7とうことで、全道平均では24.1ですので半分近くまで落ちているなというふうに思っております。55の読書は好きですかという部分ですが、これについては、小学校より伸びております。46.5とうことで北海道とほぼ同じような数値かなと思っております。数学科の方でございますが、63で数学の勉強は好きかという質問でございますが、23年度は18.3パーセントとうことで、これも前年度と比べて低くなってしまして、北海道比でも低いなという状況でございます。65の数学の授業に内容はよく分かるかという部分でも、12.7パーセントとうことで、非常に低い状況で、なかなか数学に上手く取り組めておらず、もしかすると授業に問題があるのかなとも捉えられることあるのかなと思います。

概略については以上です。

蓮井委員長

全体を通して、感想やお考えがございましたらお願いしたいと思えます。

岩原委員

以前、新聞に、テレビを見る時間が減ってきて、パソコンや携帯を使う時間が増えている傾向にあると載っていましたが、町の子はテレビも見るしということと、もう1つ、小学校の時におもしろくなかった教科が、中学校に行くと勉強しないということが顕著に現れているように思えます。家庭学習の習慣や小学校での基礎的な学力の定着が重要なのかなと思います。

遠藤管理課長

おっしゃるとおりだと思います。

蓮井委員長

国語Aが北海道と差が広がったことに危機感を覚えます。基礎的なことですので、他の教科にも影響が出てくる可能性があります。ただ、驚いたのは、中学校の数学Bが伸びていることで、調査を見ても特に数学が好きだという結果が出ていないのですが、これは、学校の指導力や生徒が危機感を持って取り組んだ結果なのかなと、そのように思ったりしております。

こういった結果を受けて各学校でそれぞれ分析していますが、それがスピード感を持って授業改善に結びついていないと思えないのです。まだまだ考える必要があると思えます。同時に家庭での子供への対応の仕方について気になる部分があります。そんなに難しく考えず、少し保護者が指導力を発揮してもらえば改善できる部分ではないのかなと考えます。保護者が直接勉強を教えるまでいなくても、学習意欲が高まるような環境を作って頂きたいとそのように思っております。

他、ございますか。

日程第 5
【議決事項】
・議案第 1 号

福島委員長職務代理者

特に低学年で、学習の楽しさが身に付いていないので、その後の学習習慣が身に付かず、勉強についていけない状態になっているのではないのでしょうか。このような状況では、不幸なのはその時にいる子供たちですので、危機感を持って取り組まなければならないと思います。

蓮井委員長

(小学校は)新学習指導要領が実施されて1年経つ訳ですが、各学校はこの結果を生かして、新しい教育課程を編成し新年度に望んでもらいたいと思います。また、中学校は新年度に新学習指導要領が実施されますが、これから年度の反省し、新しい教育課程を編成し直していく時に、こういう結果を十分に活かして頂きたいと思います。

昨年の学校訪問の時に、成績が上がった学校で、その要因を聞きましたら、繰り返し学習をした成果だといっておりました。各学校とも自分の学校にあった教育課程を編成し、対応していくことで学校に対する信頼も生まれてくるのかなとも思います。先ほど予算の中の話にもありました、教員の配置も含めて我々も学校と一緒に考えていかなければならないと感じております。

この報告についてはよろしいでしょうか。

《特に無し》

では、次に議決事項に移ります。

議案第 1 号についてお願いします。

遠藤管理課長

議案第 1 号、洞爺湖町招致外国青年任用規則の一部改正について。洞爺湖町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則を次のように定めるものでございます。

《議案読み上げにより説明》

これにつきまして、ALTの任用規則でございまして、11ページに新旧対照表がございまして、左が改選案で右が現行でございまして、

現行でございまして、1日について7時間以内で1週間にすると35時間以内とする部分でございまして、1日について7時間以内を削るものでございます。

それから、4項で1日につき7時間を1週間につき35時間に変更するものです。現行ですと1日7時間を越えることができません。週5日ですから、35時間以内ということなのですが、嘱託職員もそうですが、事情がある場合については週35時間以内というふうに、ある日に7時間30分になっても構いませんし、その分他の日で6時間30分とするということになります。実は現行で色々調べますと、トータルでは週35時間以内になっているのですが、ある曜日で7時間を超えておりました。以前は1時間目の授業に入れ

<p>日程第6 【その他】</p> <p>日程第7 【閉会】</p>	<p>ていなかったのですが、今は入れなければならなくなりまして、そうすると8時から出勤することになり、その分長くなってしまいまして、他の日は大体6時間45分で、トータルすると35時間だったのですけれど、そういかたちで週35時間を基準としましょうということで、35時間以内であればどこかの曜日で7時間を超えても勤務できるように今回改正させて頂くものでございます。</p> <p>以上です。</p> <p>蓮井委員長</p> <p>勤務の実態に合わせ、弾力化を図っていくことでの改正ですが、質問等ございますか。</p> <p>《特に無し》</p> <p>議案第1号はこのように承認されました。</p> <p>その他ございますか。</p> <p>《特に無し》</p> <p>本日の日程は全て終了しましたので、第3回臨時会を終わります。 (17:40)</p>
--	--